

令和元年度農作業体験学習実態調査結果

令和元年10月2日
福島県農村振興課

1 調査主旨

県内公立小学校において「田んぼ」「畑」を活用し、農作業体験を通して農業・環境を学ぶ授業（以下、農作業体験学習）の実施状況を把握する。

2 調査概要

- (1) 照会期間 令和元年6月17日～令和元年8月16日
- (2) 対象校数 429校（令和元年5月1日現在（休校を除く））
- (3) 回答校数 370校 回答率86%（H30 356校 回答率：81%）

※特に表記のない場合、単位は「校」とする。

3 調査結果

<農作業体験学習の実施状況について>

問1 今年度農作業体験学習を行っていますか。

	地域別							県全体	参考 (H30)
	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき		
はい	61	73	30	50	10	33	41	298	279
いいえ	23	19	3	6	2	1	18	72	77
実施率	73%	79%	91%	89%	83%	97%	70%	81%	78%

回答のあった370校の8割以上の公立小学校が農作業体験学習を実施している。

<農作業体験学習の実施内容について>

問2 (1) 農作業体験学習をどのように実施していますか。

※実施校298校（複数回答）

年間を通じた農作業体験学習取組 校数の内訳	農地利用	容器利用	(参考) H30	
			田んぼ	バケツ稲 プランター
水稲	田んぼ 124	バケツ稲 プランター 149	田んぼ 115	バケツ稲 プランター 132
野菜等	畑 202		畑 198	
水稲・野菜等の重複を除いた 実際の取組校数	277 (※重複49)		261 (※重複52)	

※実施校 298 校（複数回答）

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	県全体	参考 (H30)
田んぼ	20	35	12	36	2	7	12	124	115
畑	42	42	20	46	7	19	26	202	198
バケツ・プランター	25	37	15	12	5	28	27	149	132
その他	25	14	6	15	8	10	19	97	11

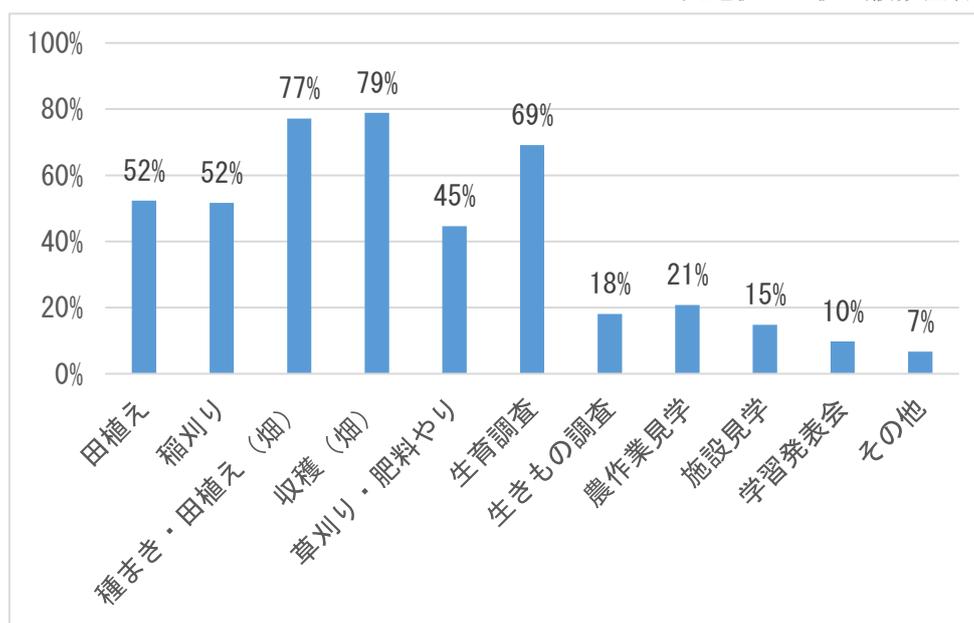
※（その他内訳） 花壇、学校園 等

農作業体験学習は、田んぼを利用したものが約4割、バケツ・プランターを利用したものが5割、畑を利用したものが約7割となっており、特に畑を活用した農作業体験学習が広く実施されている。

<農作業体験学習の具体的な取組内容について>

問2（2） 具体的にどのような作業をしていますか。

※実施校 298 校（複数回答）



※（その他内訳） バケツ稲、収穫物の調理・試食 等

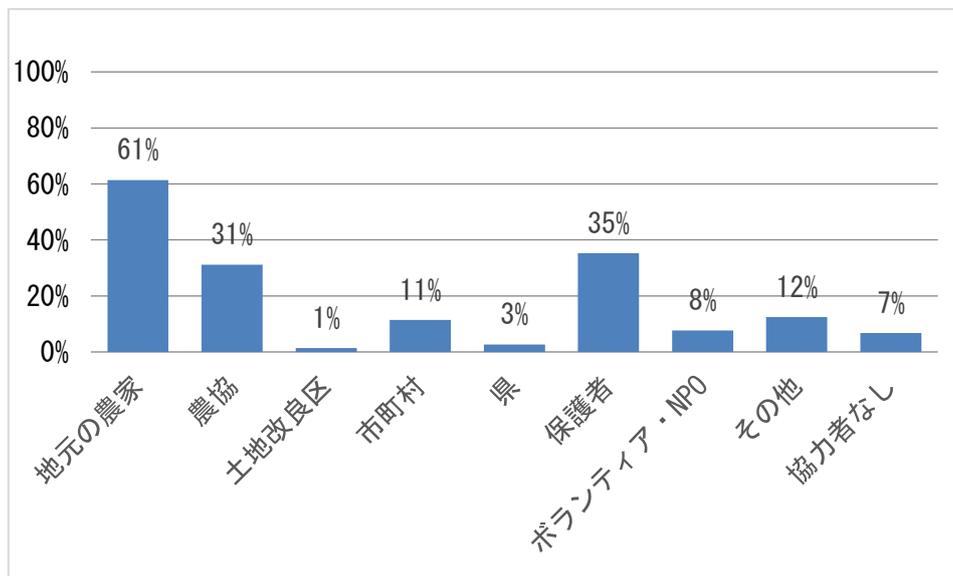
農作業体験学習の具体的な活動内容としては畑での種まき・田植え、収穫が多く、次いで作物の生育観察、田植え、稲刈りが多くなっている。

また、農作業見学や施設見学、学習発表会など、農業への理解を深めるための活動も実施されている。

<農作業体験学習における協力者について>

問2(3) 農作業体験学習を行う際、どのような方に協力してもらっていますか？

※実施校 298 校（複数回答）



※（その他内訳） 自校用務員・支援員、高校・大学、地域の団体、企業、地域コーディネーター 等

農作業体験学習の実施にあたっては、地元の農家や農協など、農業についての知識や技能を有する方々や、保護者の協力が多くなっている。

<農作業体験学習を実施していない理由について>

問3(1) 実施していない理由は何ですか。

※未実施校 72 校（複数回答）

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	県全体	参考(H30)
予算	3	2	1	4	0	0	0	10	9
協力体制	4	3	1	2	0	0	3	13	11
農地	10	12	2	3	0	0	7	34	19
時間	17	13	3	6	2	1	18	60	61
放射線理解	5	2	1	0	0	0	3	11	11
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	9

農作業体験学習を実施していない理由として、「農作業体験学習に割ける時間がないため」が最も大きな割合を占めている。

次いで、「周辺に農地がないため」が理由となっている。

<農作業体験学習未実施校における実施意向について>

問3(2) 上記の理由が解消されれば、「田んぼ」「畑」を活用した農作業体験学習を実施したいと思いますか。

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	県全体	参考 (H30)
はい	12	4	2	3	0	1	7	29	50
いいえ	10	13	1	2	2	0	11	39	27
実施希望 割合	55%	24%	67%	60%	0%	100%	39%	43%	65%

農作業体験学習を実施していない学校のうち、条件を整えば実施したいとの意向を示す割合は約4割であった。

4 まとめ

通年の農作業体験学習を実施する「田んぼの学校・畑の学校」と同様に農地を利用した活動は、75%（370校中277校）の学校で実施されている。

一方で、農作業体験学習に適した農地や、地域の協力者の確保が困難であることを理由に、農作業体験学習に取り組むことができない学校もある。

また、これまで農作業体験学習には総合的な学習の時間や理科の授業時数の一部が充てられていたが、近年、外国語学習やプログラミング学習等の実施により、農作業体験学習の実施に割ける時数の確保が大変困難な状況となっているが、条件を整えば実施したいとの意向を示す学校もある。